

### 第3回 Dlife番組審議会 議事概要 (1/2)

■開催日 : 平成24年10月9日(火)

■開催場所 : ブロードキャスト・サテライト・ディズニー(株)会議室

■Dlife番組審議会委員(平成24年10月9日現在)

北村みどり (三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21\_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長)  
齊藤裕人 (日本大学 芸術学部映画学科教授)  
中村伊知哉 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授)  
早見優 (歌手)  
ピーター・バラカン (ブロードキャスター、Inter FM執行役員)  
湯川れい子 (作詞家・音楽評論家、エッセイスト)  
吉田知子 (オリコン・エンタテインメント株式会社 取締役兼『オリ★スタ』編集長)  
四方田浩一 (キネマ旬報映画総合研究所 取締役 所長)

\* あいうえお順、敬称略

■出席した委員(敬称略)

北村みどり (三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21\_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長)  
齊藤裕人 (日本大学 芸術学部映画学科教授)  
早見優 (歌手)  
ピーター・バラカン (ブロードキャスター)  
湯川れい子 (作詞家・音楽評論家、エッセイスト)  
四方田浩一 (キネマ旬報映画総合研究所 取締役 所長)

■議題

「10月以降の編成改編について」  
「番組放送種別について」  
「マーケティング活動報告」  
「審査基準と実例について」  
「番組審議(9月、10月、11月の日本初放送番組より)」

## 第4回 Dlife番組審議会 議事概要 (2/2)

### ■議事概要

- 10月以降の編成について、新番組を中心とした改編ポイントを説明。
  - ・視聴者の定着した21時以降のドラマ枠は変更せず、昼のドラマの時間帯を変更。
  - ・人気番組「エレンの部屋」を20時台に移行し、その他のバラエティ番組を18時台の開始に繰り上げ、視聴を促進する。
  - ・正午より放送していた健康バラエティショーを、視聴者の年齢層が高いことから早朝へ移動。
  - ・BBC NEWSの時間を米大統領選挙の速報性を考慮し、午前3時からの時間に移動。
  - ・土日の昼間のショッピング枠を含めた編成変更を実施。深夜には映画枠の強化のための新たな放送枠を増設。
  - ・ディズニーのコンテンツの放送時間帯は変更なし。
  
- 番組放送種別について、4月～9月まで6カ月間の各第3週目の実績を説明。
  - \* 詳細は、ホームページ上に公開。
- マーケティング活動報告について、8月、9月の活動実績と10月以降のプランを紹介。
  - ・キーコンセプトである生活動線に入り込んだプランニングを実施。
  - 折り込みチラシ、フリーペーパー、女性誌広告に料理番組のラインナップ等を訴求。
- カスタマーサービスに寄せられた問い合わせ状況報告。
  - ・最も問い合わせ数の多かった開局時を経て、8月以降、レスポンスが増加の傾向。
  - ・コール者の男女比率、認知経路、問い合わせ内容について報告。
- 今後のマーケティング・プランの説明
  - ・認知拡大を指標にターゲット、エリア、タッチポイントを考慮し戦略的に活動。
  - ・11月スタートの日本初放送となる新ドラマシリーズ「SMASH」のプロモーションプランについて
- Dlife考査基準と事例紹介
  - ・広告、番組の前回審議会以降追加された項目について、主に映画作品の英語音声の考査基準について事例を交えて紹介。
- 番組審議
  - ・8月～10月までに放送される新番組より、日本初放送となるドラマ2作品、バラエティ2番組オリジナル番組2作品を視聴・審議。
  
- 委員からは次のような質問、意見・感想が述べられました。
  - ・「エレンの部屋」のアメリカでの放送時期について。また、今後の新シリーズの放送予定、仕様について。
  - ・ 11月スタートの日本初放送となる新ドラマシリーズ「SMASH」は、クオリティが高い良い作品である。
  - ・「SMASH」の宣伝プラン内容、告知効果について。
    - 作品のクオリティに準拠し、宣伝内容や手法においてもクオリティを追及する。
    - クオリティを尊重し、かつ、PR効果を最大化する。
    - 出演キャスト情報、昨今のミュージカルを題材にした番組の視聴傾向について。
  - ・「ミッシング」は、続きが観たくなる作品である。
  - ・映画作品の英語音声考査について、ダーティなワードがあった場合の対応について。
    - 映画コンテンツの購入決定から放送時間の決定プロセスについての確認。
    - 英語音声については、英語圏では一般的に許容されている範囲が広いため、放送時間の考慮があれば柔軟に放送して良いのではないかと？
  - ・キャストのカタカナ表記について。英語音声に近い表記の推奨。
  - ・ゲスト声優起用プロモーションについて。起用の基準、PR効果について。
    - 視聴者を尊重し、クオリティよりも告知優先にならないよう、十分な配慮が必要。
  - ・料理番組について、番組内で使用されている器具、材料の日米の差について、国内で代用できるもののフォローがあると親切ではないかと？
    - 紹介されたいずれの作品もそれぞれの特徴があり良い番組である。吹替え版のクオリティも高い。
  - ・オリジナル作品2作についての番組企画・構成方法、視聴者からの反応について。
  - ・見逃してしまった視聴者をカバーするための、再放送の必要性について。

以上